

一步、社会へ インターンシップ体験記

学んだ知識を実践の場へ。 未来へのヒントをつかむ。

インターンシップ先 **群馬県**
家政学部 造形表現学科3年 K.A.



美術の視点を取り入れ、森林や故郷のために貢献できる可能性を探りたい

高校時代、理科科で森林について探究した経験から森林職に興味を持ちました。現在学んでいる美術の視点を取り入れ、森林や故郷のために貢献できる可能性を探りたいと考え、自分のふるさとである群馬県環境森林部インターンシップに参加しました。試験研究施設や高校生のチエーンソー実習の見学など、現場での活動を通して多くを学びました。経験の浅い人と熟練した人では伝え方を変える必要があることを知り、美術でペルソナを考える感覚と重なっていると感じました。働くことには責任が伴うと実感し、県職員の方々の、全ての県民のために働く姿勢に深く感銘を受けました。この経験を通して、自分も相手に伝わる表現を意識し、責任を持って行動できる人間に成長し

林業のサポート事業や木材関連のイベント、資格取得などを通じて、現場を知りながら自分にできることを見つけていきたいです。

今後の挑戦!

美術の視点から森林や地域の魅力を発信する方法も探り、自然と人をつなぐ表現に挑戦してみたいです!



学んでいる造形力を 社会の課題解決にも活かしていく

今回のインターンシップを通して、美術の学びはどんな分野でも活かせることを確信しました。森林職の方々に伝える工夫をしていたように、私も大学で「相手に伝わる表現」をより深めて将来に繋げていきたいと思います。また、インターンシップ中に木材や炭の話の伺い、美術と森林資源を組み合わせる可能性にも興味を持ちました。素材そのものの魅力を伝える表現や、木材振興に関わるデザインなど、学んでいる造形力を社会の課題解決にも活かせるのではないかと感じています。

さらに、大学ではSNS部に参加し、広報や発信に挑戦することを始めました。多くの人に届くように表現を工夫する点で、美術の知識が役立つことを実感しており、今後も責任を持って取り組みたいです。

インターンで得た「伝える意識」と「責任感」を、自分の表現活動全体に生かしていきたいと思っています。

インターンシップ先 **株式会社LEOC**
栄養学部 管理栄養学科3年 T.M.



伝え方や見せ方次第で、印象の残り方を大きく変える

私はインターンシップに参加したことで、調理の工程の順番や、プレゼンテーションの伝え方をより意識するようになりました。私がこのインターンシップに参加した理由は、この会社の強みである「オーダーメイドスタイル」での食事提供にとても魅力を感じ、それをどのように実現しているのかを知りたかったからです。実際にインターンシップで、複数あるテーマの中から私は「脂質オフ」を選び、献立作成・調理・プレゼンテーションを行いました。この5日での試作を3回行いましたが、本番の調理では時間がかかりすぎてしまいました。その悔しさからインターンシップ後に家で料理をする頻度が多くなり、その結果学校の調理実習では時間を考えながら調理ができるようになりました。また、プレゼンテーションでは「脂質25%オフ」ということを強調して発表しましたが、フィードバックの際に、「カットできた脂質の重量に近い食品を用いて表した方が分かりやすい」と教わり、伝え方や見せ方次第で、印象の残り方が大きく変わること学びました。これをきっかけにプレゼンテーション

食を通じて人々の生活や健康を豊かにし、トレンドも取り入れた食の提案をしていきたいです!

今後の挑戦!



を行う際は、客観的に見て、少しのニヤンスの違いでも言葉選びを考えるようになりました。

このインターンシップを通じて、「オーダーメイドスタイル」の大変さややりがいを感じることができました。

自分のアイデアに根拠を持たせ、相手が納得のいくものを提供

私は将来、食に関わる仕事をしたいと考えています。大学では食に関わることを感覚的ではなく、学問的に学びました。この学びを用いて、自分のアイデアに根拠を持たせ、相手に納得してもらえるものを提供したいと考えています。

また、インターンシップでは、喫食者へ喜びを提供することが重要であると同時に、一緒に調理する方への配慮も同じくらい重要であることを学びました。今後仕事などで一緒に働く方とのコミュニケーションや思いやりも大切にしていきたいです。